

竟成地区 地域まちづくり計画

自然豊かな 住みやすい
みんなで支え合う まちづくり

平成 27 年 10 月
竟成地区まちづくり協議会



■大崎城跡（市指定文化財 昭和45年指定）

寛成地区には、鎌倉時代に築かれた大崎城跡など、後世に残すべき歴史や文化が数多く存在しています。

目 次

第1章 はじめに	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ・期間	1
第2章 競成地区は、こんな地域	2
1 地区の概要	2
第3章 こんな地域にしていこう	4
1 地区の目指すべき将来像とまちづくりの基本方針	4
2 地区の課題から見えたまちづくりの方向性と活動例	5
3 推進体制	9
むすびに	10

【資料編】

1 地域まちづくり計画策定経過	1
2 地区別まちづくり座談会関係資料	3
3 住民アンケート調査関係資料	12
4 人口統計データ	32
5 市指定文化財等	33

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨

香取市においては、高齢者の割合が平成37年には4割を超えると予測され、さらに世帯構造も単身世帯や小世帯の割合が増加し、核家族化が進行していくことが考えられます。

竟成地区においても例外ではなく、少子高齢化や人口減少が進み、世帯構造が変化する中で、地域コミュニティの再生を図ることが喫緊の課題となっています。

また、東日本大震災のような想定外の災害を乗り越えるためには、日頃の訓練や備えはもちろんのこと、人と人とのつながり“絆”が大切であり、みんなが声をかけ合い、力を寄せ合い、人を気づかいながら、みんなで助け合う“地域の絆”をつくりあげることがこれからのまちづくりにとって一番大切なことです。

竟成地区地域まちづくり計画は、こうした地域が抱える課題を自分たちで克服し、子どもから高齢者までのすべての方が、将来に向けて安心して生き生きと暮らすことができ、そして、「竟成に住んでよかった」と思えるようなまちづくりを進めるために、竟成地区の将来像を共有し、地域一丸となって取り組む活動方針等を定めたもので、竟成地区におけるまちづくり活動の基本となるものです。

2 計画の位置づけ・期間

この計画は、概ね10年間の活動像を描くものですが、社会情勢の変化も踏まえ、随時見直しを行っていくものとします。

また、本計画に掲げる施策（活動）等の実践については、活動体制や取り組むことのできる環境が整ってきたものから順次取り組んでいくこととし、実際に協議会の活動にご協力いただく住民の皆さんの負担とならないよう、無理のない範囲で、できる活動から始め、徐々に活動の多様化を図っていくこととします。

第2章 竟成地区は、こんな地域

1 地区の概要

沿 革

竟成地区は、明治22年の町村施行により誕生した旧香取郡香西村（発足当初は相根村）の一部の地域です。香西村はその後、昭和26年に佐原町、香取町及び東大戸村の3か町村と合併（佐原市誕生）。さらに、平成18年の合併（平成の大合併）により香取市となり、市の行政区域は拡大してきました。

現在は、大根区、上谷津区、大崎区、長山区、与倉区、観音区、鳥羽区、鳥羽台町内会の7区1町内会で構成されています。

なお、竟成地区という名称は小学校名が由来であり、竟成小学校という名称は、大正2年、当時の県知事により命名されました。

地 勢

竟成地区は、香取市の西部に位置し、東は香取地区、西は東大戸地区、南は栗源地区、北は佐原地区とそれぞれ接し、地形的には、水田地帯と台地や畑が広がる、緑豊かな自然が息づく地域です。

また、主な農産物として、米、さつまいもが栽培されています。

交 通

地区の西側に国道51号、東側に主要地方道県道佐原八日市場線が走り、市街地と結ばれています。

歴史・文化

竟成地区には縄文中期以来の集落跡があります。また、鎌倉時代に築かれた大崎城跡の周辺には中世の遺跡があります。さらには、大崎の大和神楽、与倉の神楽など後世に残すべき歴史や文化が数多く存在し、歴史と文化の薫る地区です。



与倉の神楽



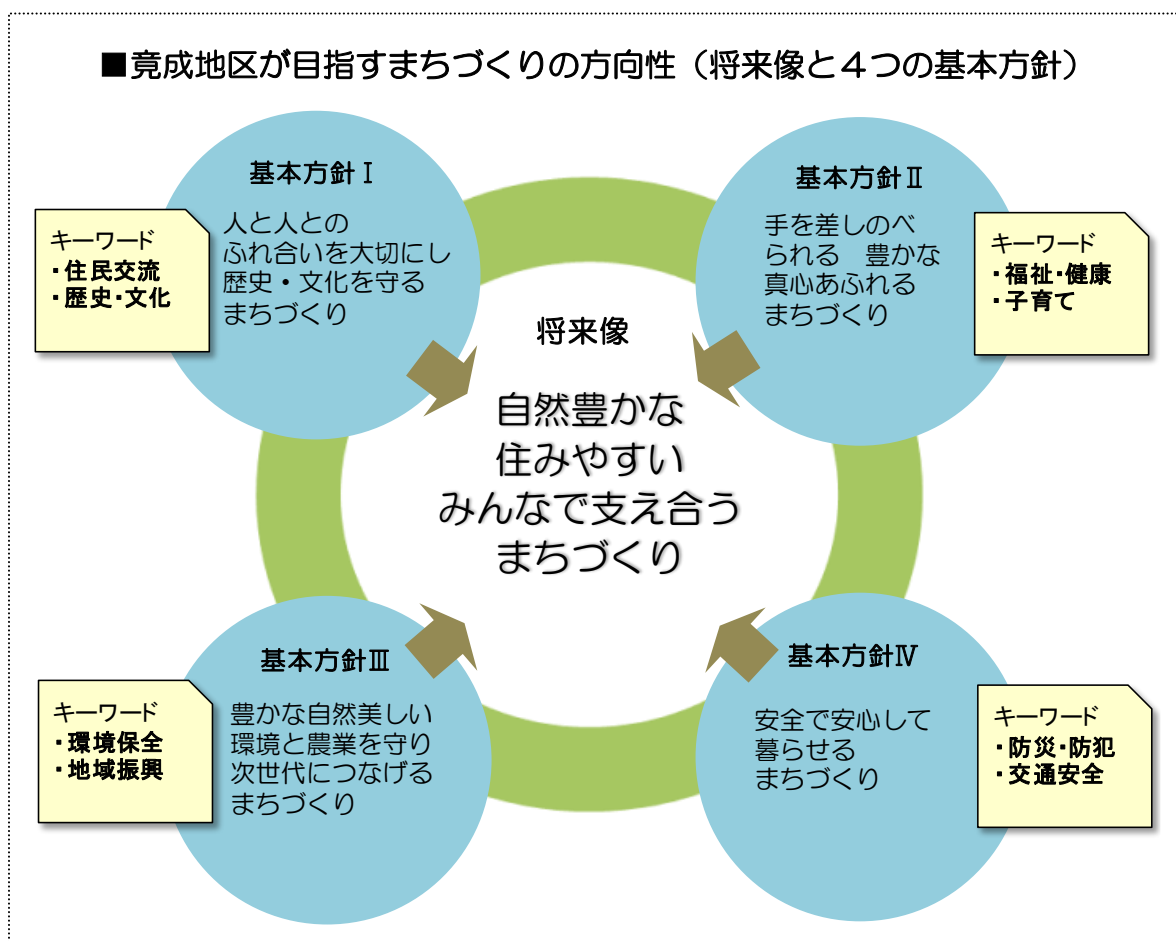
大崎の大和神楽

第3章 こんな地域にしていこう

1 竟成地区の目指すべき将来像とまちづくりの基本方針

■将来像（まちづくりの全体テーマ）

将来像は、竟成地区が将来に向けて目指すべき「まちの姿」を示すものです。
竟成地区の目指す将来像を下図のとおり掲げます。



■まちづくりの基本方針とは

将来像の実現のためには、まちづくりを構成する分野別の方向性を明確にする必要があります。本計画では竟成地区の現況や住民アンケート調査及び地区別まちづくり座談会での意見等をもとに、4つの分野別の基本方針を掲げます。

次節においては、地区の課題から導かれた分野別のまちづくりの基本方針の内容と具体的な活動例を示します。

2 地区の課題から見たまちづくりの方向性と活動例

分野1 住民交流の促進、地域コミュニティの活性化、歴史・文化の継承

課題

- 隣近所や人と人とのつながりがあり、交流を深めてきましたが、近年、地区全体で集まる機会や、若い世代の地域行事や地域活動への参加が少なく、地域に対する関心や愛着、世代間の交流が薄れていくことが懸念されます。
- 少子化の進行や若年層の地域外への流出が目立ち、人口が減少し続けていることから、自治会や消防団などの地域活動に支障をきたしつつあります。
- 地区の豊かな歴史と文化を次の世代に引き継いでいくためには、世代間交流を通して、ふるさとの歴史・文化、伝統行事を学び、ふるさとの誇りが持てるようにする必要があります。

まちづくりの基本方針 I

“人と人とのふれ合いを大切にし 歴史・文化を守るまちづくり”

住民同士の交流の機会を提供し、住民相互の交流と相互理解を深めるとともに、地域の歴史・文化を学ぶことで、ふるさとの誇りを持てる地域づくりを行います。

基本方針 I に基づく活動例

活動例	■住民交流・地域コミュニティの活性化 ・交流イベント（三世代交流イベント等）の開催 夏祭り、盆踊り、地区対抗運動会、グラウンドゴルフ、ウォーキング、将棋、囲碁、健康マージャン、カラオケ、俳句など ・集会所を利用してお茶会などを行う「オープン公民館」 ・協議会だより（広報紙）の発行 など ■歴史・文化 ・神楽などの地域行事のビデオ、写真による映像記録化 ・地域の歴史や文化を知るための学習会の開催 ・案内看板の作成、設置 など
-----	---

分野2 少子高齢化への対応（福祉・健康、子育て環境の充実）

課題

- 高齢化が進行しており、高齢者一人暮らし世帯や高齢者夫婦世帯の増加も目立ち、地域内の防犯・防災面や健康などの福祉面において、不安を解消していく必要があります。
- 高齢者の見守りの体制や生きがいづくりの場がありません。
- 車が利用できない高齢者の日常的な通院・買い物などの交通の不便さが感じられます。
- 全国的に見ても、生活習慣病や成人病、認知症などが増える傾向にあることから、健康診断の受診や運動不足の解消など健康づくりに関する意識を高めていく必要があります。
- 少子化や保護者の就労環境及び地域社会の様態の変化により、幼児教育など、安心して子育てができる環境づくりが求められています。

まちづくりの基本方針 II

“手を差しのべられる 豊かな真心あふれるまちづくり”

住民誰もが健康で、生きがいや充実感を持って暮らせるように、地域ぐるみで高齢者福祉と健康づくりを推進するとともに、地域で子どもたちを育み、安心して子育てができる環境をつくります。

基本方針IIに基づく活動例

活動例	■福祉・健康 ・独居高齢者、高齢者世帯への声かけなど、見守り活動の実施 ・健康体操教室、ラジオ体操、健康スポーツ教室などの開催 ・高齢者の交流機会の提供 ・趣味教室、地区文化祭（展覧会）の開催 など ■子育て・教育 ・昔遊び教室、親子レク、農業体験（田植え、いも掘り等）、餅つき大会など世代間交流イベントの開催 ・焼いも大会、クリスマスパーティ、音楽会、子ども作文・写真コンクールの開催 など
-----	--

分野3 環境保全・美化、地域産業（農業）の振興

課題

〇ごみのポイ捨てや分別の不徹底、また、ペットの飼育マナーの悪さ（糞の不始末など）が見受けられるなど、緑豊かな自然景観が阻害されることが懸念されます。そのため、豊かな自然の保全・活用を図るとともに、清掃や美化活動の推進が必要です。

〇竟成地区は、米やいもなどの農業が盛んな地域ですが、近年、農業の担い手が不足し、地域農業の存続のために、農業後継者を育てていくことが必要です。

まちづくりの基本方針 Ⅲ

“豊かな自然 美しい環境と農業を守り次世代につなげるまちづくり”

地区の豊かな自然環境と主産業である農業を守り、次の世代に伝えるため、自然や河川景観などの保全活動や地域の環境美化を進めるとともに、農業後継者を育てるなど農業の振興を図ります。

基本方針Ⅲに基づく活動例

活動例	■環境保全・美化
	・ 地区合同ごみゼロ運動の実施 ・ 公園、通学路のごみ拾い、草刈り等の定期的な清掃活動の実施 ・ ごみ捨て防止看板の設置 ・ 花いっぱい運動の推進、花づくり講習会の開催 など
	■地域振興
	・ 各種地域行事などと連携した青空市、朝市の開催 ・ バザー、フリーマーケットの開催 ・ 遊休農地を活用し、高齢者と子どもと一緒に作物を栽培し、交流する「ふれあい農園」の設置 ・ 新たな農業の担い手を育てるための調査、検討 ・ 地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討 など

分野4 安心・安全な地域の創出

課題

- 東日本大震災や、全国各地で頻発する自然災害などで、地震や水害などの自然災害への住民の不安を解消していく必要があります。
- 子どもや高齢者などが犠牲となる犯罪や交通事故が全国的に発生していることから、地域で子どもや高齢者を犯罪や事故からどう守っていくか検討する必要があります。

まちづくりの基本方針Ⅳ

“安全で安心して暮らせるまちづくり”

防災訓練などを実施し、地域住民の連携と協調が図れる災害に強い地域づくりを展開するとともに、一人ひとりの防犯意識及び交通安全意識を高め、誰もが安全に暮らせる、犯罪や交通事故のない環境づくりを行います。

基本方針Ⅳに基づく活動例

活動例

■防災

- ・自主防災組織設立に関する説明会の開催
- ・防災訓練、応急救命講習会等の開催
- ・災害時炊き出しボランティアの募集、炊き出し訓練の実施
- ・地域（自治会、各種団体等）間緊急連絡体制の整備 など

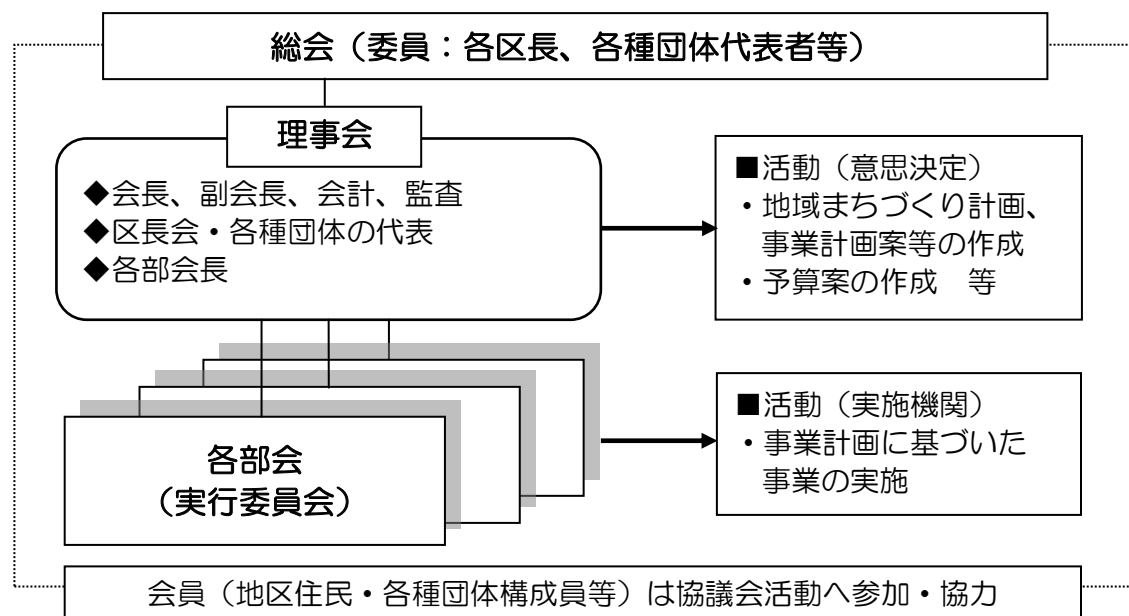
■防犯・交通安全

- ・学校支援ボランティア、健康づくりを兼ねた“散歩パトロール”や“自転車パトロール”等、個人ボランティアの募集及び活動支援
- ・「子ども110番」宅の設置推進
- ・青色回転灯装着車パトロール活動
- ・防犯、交通安全教室の開催
- ・標語募集、看板等の設置による意識啓発 など

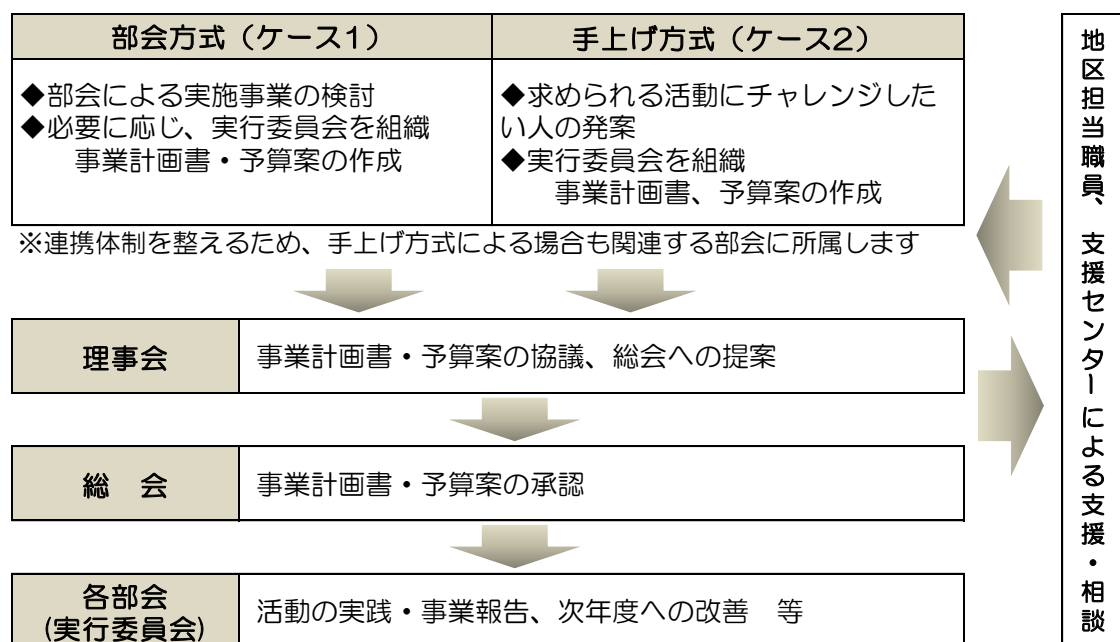
3 推進体制

竟成地区まちづくり協議会は、地域の課題解決のために、地区内の住民や各種団体が話し合い、調整、実践していく場として位置づけ、住民や各種団体等が互いの持ち味を活かしながら、横につながり合い、将来像や活動目標の実現に向けて、協働で計画を推進していきます。

■まちづくり協議会の組織構成図（イメージ）



■地域まちづくり計画実践の流れ（イメージ）



むすびに

平成18年3月の合併により、香取市の行政区域は拡大しましたが、各地区においては、自治会や各種団体が主体となり、まちづくりに取り組んできた地域性があります。

まちづくり協議会は、それらの地域性を尊重し、住民の皆さんが自発的に地域の課題に取り組むことができる仕組みです。

住民アンケートでの回答の中には、交通の便が良くない、一人暮らし高齢者などの生活が心配、子どもたちの遊び場が少ない、ごみのポイ捨てが目立つなど、住民の方々から地域の課題について多くの意見をいただきました。

これらを地域の課題として捉え、竟成地区一体となって考え、行動し、また行政と役割分担しながら連携・協力して地域課題を解決したり、地域の明るい将来を実現させたりするのがまちづくり協議会です。

『竟成地区まちづくり協議会』は、本計画書に基づき、竟成地区の目指す将来像の実現に向けて、住民同士の絆を深め、皆さんの知恵と力をお借りしながら、今後の活動を進めたいと思いますので、住民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

資 料 編

目 次

1	地域まちづくり計画策定経過	1
2	地区別まちづくり座談会関係資料	3
3	住民アンケート調査関係資料	12
4	人口統計データ	32
5	市指定文化財等	33

1 竟成地区まちづくり協議会 地域まちづくり計画策定経過

期 日	会 議 名 等	内 容 等
27年 3月6日	26年度 第1回理事会	・地域まちづくり計画の策定について ・計画策定に係る予算等について
3月下旬～ 4月	住民まちづくり アンケート調査	・竟成地区内の全世帯を対象に、地区の課題や今後、取り組むべき内容等に関するアンケート調査を各区長の協力のもと実施
5月～ 6月	住民アンケート調査 結果の集計・分析	・まちづくりアンケート調査結果を集計するとともに、回答結果を分析
5月18日	地区別まちづくり 座談会（おおさき区民館）	・地域の課題、将来像及び協議会活動の方向性等について、竟成地区を2つのグループに分けて、ワークショップ形式で意見交換を実施
5月22日	地区別まちづくり 座談会（与倉公会堂）	
6月23日	27年度 第1回役員会	・地域まちづくり計画（案）の協議 ・部会の設置等推進体制について ・27年度実施事業について ・その他理事会議案に係る協議
7月13日	第2回役員会	
7月21日	第3回役員会	
8月下旬	協議会だより第2号 （各戸配布）	・アンケート調査結果等計画策定状況について地域住民へお知らせ
9月18日	27年度 第1回理事会	・地域まちづくり計画（案）の協議 ・部会の設置等推進体制について ・27年度実施事業について ・その他総会提出議案に係る協議

計画策定のご検討をいただいた方々
(平成26・27年度竟成地区まちづくり協議会理事会)

(敬称略)

役職	氏名	所属(推薦)団体等
会長	平野 庄一	第3号委員(大崎)
副会長	宮崎 文夫	第3号委員(大崎)
	鈴木 昭	民生委員・児童委員代表(上谷津)
	平山 廣明	区長代表(大根区長)
事務局長	高木 貢	第3号委員(大崎)
事務局次長	土戸 貞美	第3号委員(大根)
会計	藤ヶ崎 重雄	第3号委員(長山区長)
	高木 峯男	第3号委員(鳥羽)
監査	小山田 孝志	第3号委員(上谷津)
	鵜澤 明	第3号委員(観音)
理事	椎名 正次	上谷津区長
	大木 照正	大崎区長
	(藤ヶ崎 重雄)	長山区長
	菅井 健一	与倉区長
	齋藤 秀一	観音区長
	佐藤 孝夫	鳥羽区長
	牧 常四郎	鳥羽台町内会長
	高橋 不二夫	民生委員・児童委員
	高木 永子	民生委員・児童委員
	田中 三枝子	母子福祉協力員
	菅井 方子	母子福祉協力員
	岩澤 雅樹	青少年相談員 三中支会竟成分会長
	福水 利夫	青少年相談員 五中支会竟成分会長
	臼田 英生	竟成小学校PTA 会長
	斎藤 孝則	香取市消防団佐原第3支団第3分団
	高岡 太一	香取交通安全協会香西支部
	郡 弘行	スポーツ推進委員
	高城 博	農業委員

竟成地区

地域まちづくり計画策定ワークショップ 開催結果

1 目的

地域まちづくり計画の策定過程において、住民とともに地域の課題や目指すべき将来像、地域自らが取り組むべき具体的活動内容等を明らかにし、共通理解を得ることを目的に、地区を2グループに分けて、それぞれ座談会を開催する。

さらに、座談会を契機に、改めて今後の協議会活動への理解・協力を求める。

2 参加者

協議会委員

3 内 容

参加者を5～8人程度の班に分けて、以下のテーマについて意見交換を行う。

テーマ1：「地域の現状と将来像について」

(1) 気になる現状（地域の悪いところ、困っている課題など）は？

⇒【将来像】放って置いたらこんなまちになってしまうかも？

(2) 好ましい現状（地域の良いところ、強みなど）は？

⇒【将来像】強みを活かして、こんな地域になればいいなあ！

テーマ2：「地域の現状を踏まえ、今後取り組むべき具体的な内容について」

(1) 今後、地域で取り組むべき課題とは？

(2) 課題解決のため、具体的にどんな取り組みや活動が必要か？

4 開催日時・場所

地 区	日 時	場 所	参加人数
大根区、上谷津区、 大崎区、長山区	平成27年5月18日(月) 午後7時～9時	おおさき区民館	25人
与倉区、観音区、 鳥羽区、鳥羽台町内会	平成27年5月22日(金) 午後7時～8時15分	与倉公会堂	17人

※役員及び竟成小学校選出委員は、どちらも参加することができます

竟成地区まちづくり協議会 座談会
計画策定ワークショップの意見

1 防災について	
現状・課題	■気になる現状 ・（多数）消防団員が少ない。地元にいない。新しい団員がいない。 ・（多数）防災無線が聞こえにくい。入らない。 ・ 防火水槽が少ない。 ・ 大きな災害があったら不安。 ■好ましい現状 ・ 災害時にはとても良い場所である（高台で安心。地盤も山）。
今後取り組み組むべき活動	■こんなことをしたい、あんなことをしてほしい！ ・ 日ごろ家にいる人で準消防団員などが作れないか。 ・ 女子も消防団。 ・ 地区全体としての防災訓練の実施（半日）。 ・ 防災意識を地区住民に更に高めてもらう。

2 防犯・交通安全	
現状・課題	■気になる現状 ・ 空き巣が多い。 ・ 空き家等で治安の面で心配な面がある。 ・ 道路の状態が悪い（砂利道が多い）。 ・ 歩道がない。 ・ 通学に時間がかかり、道が狭く、暗い場所が多い。 ・ 不審者が心配。 ■好ましい現状 ・ （多数）治安が良い。 ・ 顔見知りが多い。 ・ 登下校に付き添いの方がいる。 ・ 子どもの通学に役員が見守りをされていて良い。

今後取り組み組むべき活動	■こんなことをしたい、あんなことをしてほしい！ ・ 地域の人々で、見守り活動をする！ ・ 地域としての防犯見守り隊を組織し、持続可能な活動を行う。 ・ 子どもたちのため、交通安全指導、通学路の見守り。 ・ 帰りの時間帯にも要所に見守りを。 ・ 防犯・防災講習会の実施。 ・ 防犯強化が必要。 ・ 移動交番。
--------------	--

3 生活環境	
現状・課題	■気になる現状 ・ （多数）ごみの不法投棄がある。ごみのポイ捨てあり。 田んぼへのポイ捨て 空地への自転車・ビン・缶の不法投棄 市道へのごみの不法投棄 ・ 人通りのない山に物を捨てられて困る。山が泣いている。 ・ 他地区からのごみ捨て。持ち込み。 ・ 青年館に大型ごみが多すぎる。 ・ 風が吹くとビニール袋、木の枝などが飛んでくる！ ・ ごみ捨てのマナーが悪い。 ・ ごみステーションへのごみの出し方が悪い。ルールが守られていない。 ・ ごみ収集所の回収日を守らない。 ・ 道脇の草刈りをしてほしい！ ・ 山の下草刈りをしないので荒れている。 ・ 木が伸び放題住宅。 ・ 田畑の空き地が雑草等であふない。 ・ ハクビシンによる野菜等への被害が年々増えている。 ・ ソーラーパネルが多くなり、自然が少なくなりつつある。 ・ 工場進出で地下水が心配。 ・ （多数）市の水道がない（地下水）。 ・ インフラ整備。 ・ 飲食店の種類が少ない。 ・ ラジオの受信状況悪い！ ・ きれいな公園がない。

	・ 農業の後継者不足（会社員をしながら農業をすることは難しい）。 ■好ましい現状 ・ （多数）自然が豊か。緑が豊か。空気がきれい。 ・ 自然が残っていて、川、森で遊べる。 釣り、クワガタ採り ・ 自然度が高い（植物の種類・絶滅危惧種もかなりある）。 ・ ビルがない。高い建物がなく、見通しがよい。 ・ R51を中心に店舗が多くあり、生活する上での利便性は比較的充実している。 ・ 車の渋滞が少ない。
今後取り組むべき活動	■こんなことをしたい、あんなことをしてほしい！ ・ 地域の住民が力を併せてごみの回収作業を定期的を実施する。 ・ 地区内清掃 ゴミ拾い。 ・ 捨てられたごみ（ビンカン含む）を拾うこと（地域ゴミゼロ運動）。 ・ ごみの不法投棄をさせないように道路沿いは草刈り等を定期的にする。 ・ ごみ捨て防止看板設置。かわいらしいキャウなどを用いて。 ・ 自然をきれいに残すように維持管理する。草刈り。木の伐採。 ・ 環境保全のため、「地域で草刈り」「ごみ拾い」「道路補修（未舗装道）」

4 健康・高齢者福祉	
現状・課題	■気になる現状 ・ （多数）高齢化が進んでいる。若い人が少ない。 ・ 独居老人が増えている。 ・ 現在まだ大きな問題になっていないが、認知症の方が増え、それに関わる課題が出てくると思われる。 ・ これから年を取ると買い物が大変になりそう。マイカーが運転できなくなる。 ・ 高齢者は交通手段がないので行動範囲が狭まる。買い物が不便。 ・ 高齢者の集まりがほとんどない。 ・ 高齢者が心配。 ■好ましい現状 ・ 散歩コースが豊か。佐原の住民がよく歩いている。

今後取り組むべき活動	■こんなことをしたい、あんなことをしてほしい！ ・ 認知症予防体操。 ・ 元気な高齢者を多くするために市の職員による元気教室を定期的の実施してもらう。 ・ 高齢者問題 ・ 健康維持増進に関する活動の組織 ・ 認知症のある人への地域全体の取り組みの組織化 ・ 高齢者のための「呼びかけ」「見守り」 ・ サロンを開く。 ・ 高齢者の婚活を。 ・ 各地で老人クラブが解散している。60歳代でも参加できるよう老人クラブの名称を変更しては。
------------	--

5 子ども	
現状・課題	■気になる現状 ・ （多数）子どもが少なくなった。 ・ 高校を卒業すると地元から離れてしまう。 ・ 独身が多い。→ 少子化 ・ 人不足。 ・ 子ども会の遠足の行き先がいつも同じ（マンネリ化） ・ 中学校がない！ ・ 市内に専門学校などが少ない。 ■好ましい現状 ・ （多数）竟成小がある。教育環境の良い学校は自慢。 ・ 竟成小学校のグラウンドはとても広くすばらしいのでなくさないでください。 ・ 保育所が近所にあり、子どもが増えると良い。 ・ 夏休みに子どもたち（小学生）の親の有志で流しそうめん祭をしている。

今後取り組むべき活動	■こんなことをしたい、あんなことをしてほしい！ ・ 地元に戻ってきたくなる、みんなが誇れる竟成地区を作る！ ・ 地域内でのイベントに変化 ・ 学校教育（竟成小）への協力 - 廃品回収協力、美化活動、あいさつ運動、地域の取り組み、見守り隊の増員 ・ 高齢者と子どもたちの交流の図れる活動の組織。 ・ 農業後継者育成と農村地区に住んでいる子どもに体験学習。 - 田植えから草刈り、おむすびづくり ・ 竟成小で焼いも大会（現在、小学校で実施しているものを拡大して地区で）。 ・ 竟成小学校を中心に支える。
------------	--

6 住民交流・地域コミュニティ

現状・課題	■気になる現状 ・ （多数）地域活動への参加者が年々少なくなっている。 ・ 近所の子ども（若い世代）のことがわからない。 ・ 子育て後の女性の交流の場が少ない。 ・ 地域内でも交流の機会が少ない。 ・ 町内の交流が少ない。 ・ 行政区と学区が違う。 ・ 近所との付き合いがなくなった。 ・ 高齢者の集まりがほとんどない。【再掲】 ・ 家を出たら車に乗って出勤してしまうので、となり近所の若い人たちの顔がわからないのが現状です。 ・ 近所の子どもの名前を知らない。近所に誰が住み、何をしているのかよく知らない。→世代間・地域の中での交流が少ないという意見が会議で出されていた。 ・ 三世代交流のイベント（グラウンドゴルフ大会等）がない。 ・ 子どもたちと地域の大人とのかかわり（三世代のかかわり）。 ・ 地域と学校とのかかわり（PTA会員以外の大人）。 ・ 新住民と旧住民の交流が少ない。 ・ 治安が良いのは役員に負担が大きいから？ ・ 他人が口出ししすぎる。
-------	---

	■好ましい現状 ・（多数）近所付き合いが良い。 ・ 人とのまとまりが良い。人と人との関係が温かい。 ・ 近所の人が子どものことを気にかけてくれるところ。 ・ 青少年相談員の活動が活発。 ・ 各種団体（青少年相談員等）が学校に協力的。 ・ 地域の人が集まるバザーが行われている。 ・ 区長会等の組織がしっかりしており、学校からのお願い等も快く引き受けてくれてありがたい。 ・ 区行事に対して大部分の人が参加してくれている。 ・ 協同（物を借りたり貸したりできる）。 ・ 行事への参加。 ・ 各種団体の活動がまだよくできている。 ・ 香西地区でまとまる。 ・ 田舎の人は村の人間関係を把握しており、知らない人がうろうろしていると怪しむ。 ・ あいさつをよくする。
今後取り組むべき活動	■こんなことをしたい、あんなことをしてほしい！ ・ あいさつ運動 ・ 世代関係なく参加できるイベント ・ みんなが参加できるイベントを考える！ ・ 学校への協力者が充実感を持てる役割とイベント（行事）の工夫 ・ 軽スポーツ等をとおして三世代の交流事業（三世代の名刺交換 ・ 三世代の交流を図る事業を行う。 ・ 地域の人材を教育活動に生かす。いも作り ・ 農業体験学習 ・ オープン公民館…各地区の区民館を週1回くらい開けてお茶会（コーヒー）できるようにする。併せて野菜等販売 ・ <地区内交流> 竟成っ子まつり！ 竟成まちづくりまつり 竟成小学校の子どもと地区の大人が合体して体育館で地区のまつりイベント実施。 ・ 交流の場としての祭り、イベントの実施。 ・ 竟成地区全体でできる（参加できる）イベントを通じて交流を図りたい。 ・ 近所付き合いを更に強めていく。人口減少で人との交わりが少なくなるので ・ 竟成地区C級グルメ大会試食展示即売 農家のおかあさんが作った「田舎まんじゅう」「かきもち」「梅干し」「みそ」その他

	・ 公園を作り、釣り堀、フィールドアスレチックなど、子ども、大人がいっしょに遊べる場所があるとよい。
--	--

7 文化・歴史	
現状・課題	■気になる現状 ・ 神楽の後継者がいない。 ■好ましい現状 ・ （多数）大崎は「大和神楽」郷土芸能が残っている。 ・ 4月に与倉神楽があり、子どもたちが楽しみにしている。 ・ 神楽を守っていく意識が強くなった。 ・ 歴史ある寺社・旧跡があること。 ・ →これらは十分に住民に知られていない面がある。 ・ 伝統行事がまだ残っている。できるだけ継続したい。 ・ 神楽奉納、宮なぎ、おびしゃなど ・ 大龍寺の天井画が天下一品。 ・ 大龍寺のノウゼンカズラは花の百選に選ばれている。
今後取り組みべき活動	■こんなことをしたい、あんなことをしてほしい！ ・ 子どもたちに郷土芸能を教える機会を設ける。 ・ 神楽の発表の機会を作る！ ・ 歴史のあるものをまず地域住民に知ってもらう活動（寺社・旧跡に説明板を立てることもしてみたい。また、それらについての解説書作成） ・ 文化・歴史をより多くの方にPRできれば新しい方々が移り住んでくれるかも？ ・ 地域の中には得意な文芸等を持っている方が多くいる。それらの発表会など。 ・ 自然、地区の植物・動物を大切にする里山づくりもできればいいなあ ・ <地区内文化祭>郷土のかくれた才能発表会 書道、絵、押し花、水墨画 ・ <芸能発表会>伝統芸能に町の芸能人 三味線、尺八、民謡、日本舞踊、鳥羽、与倉の芸座、大崎大和神楽 ・ 伝統継承 ・ 歴史を掘り起こす。 ・ コーラスグループを作ってはいかが？

8 その他	
現状・課題	■気になる現状 ・ 公共施設が遠い。 ・ 救急受付できる大きな病院がない。 ・ 農道不備。 ・ 畑の道ではあるが、できれば車1台が余裕で通れるように。 ・ 「気になる現状」自体が分からない。 ■好ましい現状 ・ 食べ物がおいしい。米、いもなど
今後取り組むべき活動	■こんなことをしたい、あんなことをしてほしい！ ・ 年に1回は身近な問題についての講演会もよいのでは？ ・ 市政の取り組みの理解（出前講座の開催など） ・ 広報紙の発行 - まちづくりの行事や実施事項 - 各地区の有名人や特別な人を紹介 ・ スポーツ運動センター（陸上、水泳、サッカー、野球など）

竟成地区まちづくりアンケート調査の結果と分析

アンケートの概要

■調査の目的

本アンケート調査は、竟成地区地域まちづくり計画を策定するに際し、地区の課題や活動の状況等を把握するため、自治会加入世帯を対象にアンケート調査を実施した。

■調査の方法

調査時期 平成27年3月下旬～4月

調査地域 竟成地区の範囲

調査対象 世帯で2人（単身世帯は1人）

調査方法 地区内の自治会加入世帯（794世帯）を対象

※各世帯に調査票を2部ずつ配布し、アンケート調査協力を依頼

※16歳以上の世帯員2名の記入を基本とし、若者の意見も積極的に取り入れるため、1部は、できるだけ若い世帯員に記入してもらう。

※単身世帯については1部のみの記入を依頼。

■回答者数

調査対象世帯数 794世帯

回収票数 1,051票

■集計結果記載方法

アンケートは、「選択方式」を採用しており、「複数選択」を可としている設問があります。その場合の比率は、回答者数に対する割合を表記しています。

	回答数	割合
大根区	182	17.3%
上谷津区	114	10.8%
大崎区	244	23.2%
長山区	45	4.3%
与倉区	121	11.5%
観音区	182	17.3%
鳥羽区	111	10.6%
鳥羽台町内会	50	4.8%
無回答	2	0.2%
計	1,051	100.0%

	回答数	割合
男性	515	49.0%
女性	516	49.1%
無回答	20	1.9%
計	1,051	100.0%

回答した人の男女の比率は、
ほぼ同数である。

	回答数	割合
16～18歳	14	1.3%
19～29歳	60	5.7%
30～49歳	241	22.9%
50～64歳	375	35.7%
65～74歳	241	22.9%
75歳以上	108	10.3%
無回答	12	1.1%
計	1,051	100.0%

回答した人は、50歳から
64歳が一番多く、また、30
歳から74歳までの人で8割以
上を占めている。
一方、29歳以下で回答した
人は、7%にとどまった。

問4 住みやすいと思う？

	回答数	割合
思う	618	58.8%
思わない	215	20.5%
わからない	218	20.7%
計	1,051	100.0%

回答した人の約6割が「住みやすい」地域と感じているが、「思わない」と感じている人も約2割いる。

問5 住み続けたいと思う？

	回答数	割合
ずっと住んでいたい	564	53.7%
当面は住みたい	305	29.0%
いずれは他地域に移りたい	69	6.6%
わからない	113	10.8%
計	1,051	100.0%

全体の8割以上の方が竟成地区に住み続けることを希望していることから、全体的に定住意識は高いといえる。

一方、「いずれは他地域に移りたい」と竟成地区からの転出の意思を示している人も、約7%いる。

問6 良いところ（自慢できるところ）は？（複数選択）

		回答数	割合
1	自然が豊か	678	64.5%
2	犯罪が少ない	381	36.3%
3	人情がある	252	24.0%
4	歴史や伝統がある	103	9.8%
5	老後も安心して生活できる	97	9.2%
6	安心して子育てができる	81	7.7%
7	買い物が便利	80	7.6%
8	交通の便がよい	70	6.7%
9	地域コミュニティが充実している	41	3.9%
10	働く場が豊富である	4	0.4%
11	その他	10	1.0%
12	特になし	169	16.1%

「自然が豊か」と感じている人の割合が最も多く64.5%で、次に「犯罪が少ない（36.3%）」、「人情がある（24.0%）」と続いている。

このことから、竟成地区が緑の多い穏やかな地域であることがうかがえる。

問7 住みづらいと感じるところ（不安なところ）は？（複数選択）

		回答数	割合
1	交通の便	507	48.2%
2	買い物が不便	425	40.4%
3	老後の生活	413	39.3%
4	魅力ある働く場が少ない	382	36.3%
5	子育て環境	134	12.7%
6	ごみなどが目立つ	127	12.1%
7	防犯体制	122	11.6%
8	地域コミュニティの衰退	107	10.2%
9	防災体制	106	10.1%
10	青少年の育成の場	92	8.8%
11	文化、芸術にふれあう機会	54	5.1%
12	年々自然が失われていく	53	5.0%
13	自治会や地域活動に参加しにくい	49	4.7%
14	歴史や伝統が大切にされていない	29	2.8%
15	その他	49	4.7%
16	特になし	91	8.7%

「交通の便」、「買い物が不便」、「老後の生活」、「魅力ある働く場が少ない」と回答した人の割合が、他の項目に比べ非常に高い結果となった。

地域の助け合いの中で、できる範囲の対策を検討する必要がある。

問8 竟成地区の将来を考えるうえで、特に重視すべきことは？（複数選択）

		回答数	割合
1	通院や買い物など“生活の足”の確保 （バスなどの公共交通の充実）	452	43.0%
2	近所や地域のつきあい・助け合い	394	37.5%
3	高齢者の生きがいや健康づくり	386	36.7%
4	子どもの安心・安全の確保	329	31.3%
5	雇用の場の確保	255	24.3%
6	震災、水害、火災などに対する防災対策	251	23.9%
7	住民の健康維持や介護予防のための取り組み	224	21.3%
8	子育て支援活動の充実	210	20.0%
9	農業後継者の育成（農業の振興）	197	18.7%
10	地域を担う人材の育成	141	13.4%
11	青少年の健全育成	137	13.0%
12	祭りやイベント、スポーツ等を通じた 地区住民の交流	134	12.7%
13	治安維持のための防犯対策・防犯活動	129	12.3%
14	地域の清掃活動、ごみのポイ捨て解消 などによる生活環境の改善	128	12.2%
15	田園景観、水辺や緑などの自然環境の 保全	99	9.4%
16	個人のプライバシー	81	7.7%
17	ボランティア活動の推進	46	4.4%
18	歴史や文化の保存・継承	41	3.9%
19	その他	16	1.5%

○「生活の足の確保」を求める人の割合が43.0%と最も高く、問7の「交通の便」の向上を求める声と一致。理由としては地域に市の循環バスが運行していないことなどが考えられる。地域の高齢者や高齢者がいる家族にとって、最善な送迎方法を検討することがこれからの地域に求められることとなる。

○次いで、「近所や地域のつきあい・助け合い」を重視する人が37.5%、「高齢者の生きがいや健康づくり」が36.7%、「子どもの安心・安全の確保」が31.3%いる。このことから、地域内の誰もが顔見知りで、気軽にコミュニケーションが取れる地域社会（コミュニティ）の確立により、「安心・安全なまちづくり」や「高齢者福祉や子育て支援活動の充実」を求めているものと思われる。

○また、「雇用の場の確保」を重視する人も24.3%と多く、問7の「魅力ある働く場が少ない」と回答した人が多いことと傾向が同じであり、それらの課題を解決する声が大きい。

問9 「住民参加」についての考えは？

	回答数	割合
何事にも積極的に参加したい	49	4.7%
内容や頻度等によっては、積極的に参加したい	235	22.4%
頼まれれば、可能な範囲で参加・協力したい。	439	41.8%
関心がない	77	7.3%
わからない	239	22.7%
その他	12	1.1%
計	1,051	100.0%

「積極的に参加したい」と回答した人が約3割おり、「頼まれれば可能な範囲で参加・協力したい」を含めると約7割の人がまちづくり活動に参加・協力したいと感じている。

問10 設立を知っていましたか？

	回答数	割合
知っていた	333	31.7%
知らなかった	651	61.9%
無回答	67	6.4%
計	1,051	100.0%

「知っていた」が約3割に比べ、「知らなかった」が約6割となっており、協議会活動のさらなる周知が必要である。

問 11 地区で解決することが必要と思われることは？

(自由回答)

防災

- ・ 非常事態に備えて、体育館での避難生活のシミュレーション体験（炊事 etc 体制の確認）。
- ・ 災害時の要援護者への対応（災害時に援助が必要な方々〈高齢者・障がい者・小さな子どもなど〉を事前に把握しておき、いざという時に、誰がどの方を援助するのかを決めておいてほしいと思います）
- ・ 災害が起きた時の対策は早急に！
- ・ 安全対策の会（道路、街灯がない。老木の撤去（キケン））→台風の時など
- ・ 防犯、防災対策に関すること

防犯

- ・ 安全対策の会（道路、街灯がない。老木の撤去（キケン））→台風の時など【再掲】
- ・ 防犯、防災対策に関すること。【再掲】
- ・ 街灯が少ない（事故や防犯を防ぐため）。

交通

■コミュニティバスなど

- ・ 交通の便が良くなると良い（バスの本数を増やす）。
- ・ コミュニティバスを増やす、新設すべき。千葉交通のバスは高いし、本数もないので、市でコミュニティバスを運営して、佐原市街に行きやすいようにしてほしい。竟成 ⇄ 佐原駅と竟成 ⇄ 大戸駅のバスがあるとうれしい。
- ・ 特に交通の便、バスなどが不便。

■交通弱者への対応など

- ・ 高齢者の運転が危ないので、交通手段の選択ができるようになると安心する。
- ・ 老後、車の運転ができなくなったときにどうする？ 交通の便の良い所に転居したい。
- ・ 交通が不便・車を持っていない等の人は、タクシーを利用しなければならないから、お金がかかる。
- ・ お年寄りが町へ通える交通手段が少なく、送迎する人は大変であると思われる。
- ・ これから年を取っていくことで、生活は大変不便です。車が乗れないと医者にも買い物にも行けないと思います。
- ・ 店、病院に行くのにも、近くにないから、車（タクシー）利用では生活していけ

なくなる。

■その他

- ・ 雪が降った時、道路を除雪してほしい。
- ・ 夜中のバイクがうるさい。ストレスで寝れない。迷惑（アイディアとして警察の巡回）

交通安全

- ・ 道路に歩道がないこと。
- ・ 子どもたちの通学路の安全街灯を多くしてみる。道路の穴（アスファルトの状態が良くない）などが目立つように思われる。
- ・ 小学生を守るため、登校・下校の時間だけパトロールする。
- ・ 通学路で一部歩道がよくないところがあるので、もし直せるなら直してほしい。

環境美化・保全

■清掃活動・草刈り・ごみなど

- ・ 子どもたちも参加の地区清掃活動
- ・ 地域全体で地域清掃活動（県道を含む）することが必要
- ・ 道路に出ている枝の伐採、道路の草刈り。
- ・ 小学校わきのごみ捨て場がよごれていてひどい。
- ・ 竟成小学校脇のごみ捨て場のひどさに困っています。近くにアパートがあり、自治会にも参加がないため、やりたい放題です。収集車が行ってしまった後に平気でだしています。また大崎地区から車で持ってきて通り道だから置いていってしまう人も見かけます。近くに住む住民として本当に困っています。
- ・ 香取市のごみ袋は、他市に比べて高すぎる（市長が値下げすると言って値下げしていない）から、ポイ捨て等が増えるのではないかと（農村地区に、他区等の人ポイ捨てしたりするのは？）

■野焼きなど

- ・ ハウスのビニール燃やした家が有ります。洗濯物が干せなくて困っています。それは、燃えないゴミの日の前の夜から燃やしていました。庭樹が駄目になってします。
- ・ エンジンをつけたまま車を離れて20～30分アイドリングさせている方が目につきます。（深夜&早朝）現役の自動車整備士の方にお訊ねしたところ、今の車はアイドリング（暖気）は不要とのお答えでした。悪しき慣習（思い込み）が騒音とCO₂を無駄に排出しているのではないのでしょうか。地区のみならず、香取市として、千葉県として改めてゆくべきと思います。

■ペットのふんなど

- ・ 最近、ご近所何軒かの飼い猫が外飼いされていて、庭に来てふん尿して行くので、

とても迷惑しています。回覧板などで、厳しく注意してください。

- ・ 散歩の際の飼い犬のフンの始末。
- ・ 野良猫の駆除。ペットの場合は室内飼い。

■その他

- ・ 禁猟区にすべきである。住宅街となっているのに、時期になると毎年散弾銃を持って猟師（ハンター）が狩猟犬を放し銃を間近で撃っているため、大変危険である。
- ・ 森林の整備地域。

高齢者福祉

■健康づくり・健康体操など

- ・ 高齢化社会に向けてのボランティアを通じた交流生きがい健康づくり。
- ・ 高齢者の生きがい、健康づくりの場を地区公民館などで開催するようにしてもらう。
- ・ 高齢化が進む中、病気にならないための予防として、またリハビリとしての健康体操を取り入れたらと思います。（竟成小などで）最初の内は、それなりにプロの方の指導も大切かと思います。医療費の節約にも、自立化対策にもなります。人々が楽しい、楽しく語らうことにより、次のステップにつながると思います。
- ・ ラジオ体操や軽体操など。みんなでやって、寝たきを減らす。
- ・ 地区の公会堂などで中高年などの健康体操会等あればいいと思う。
- ・ 高齢者の健康づくりのための講習会を竟成小学校体育館を利用して行ってほしいと思います。
- ・ 住民の健康維持のため、健康体操、認知症予防体操などを行う。
- ・ 各市で行われて居ります高齢者（60歳以上）の健康マージャン（掛け金なし）クラブをつくっていただけることを希望します。

■介護・高齢化問題

- ・ 高齢者家族のケア（官を頼りにせず）。
- ・ 今後、単身家や高齢者2人家族が増えて来ると思われます。「みまわり隊」とか「声かけ隊」などが出来たら良いかと。又、台風や災害などの時にもこれらの家々に配慮が出来たらなと常々考えています。〇〇〇会がたとえば出来たら、気がねなく、誰もが入れる様な〇〇〇会をお願いしたいと思います。私の出来ることがあればご協力したいと思います。
- ・ これから一人暮らしの老人が増えると思います。何かあった時、遠い所にいる子達や親類にまかせるのではなく、近所同士のネットワークがあればと。遠慮せずに使えるような工夫があるといいですね。
- ・ じいさん、ばあさんばかりなので、買い物や病院のおくりむかえが大変である。何かいい方法はないのだろうか。
- ・ 高齢者の運転が危ないので、交通手段の選択ができるようになると安心する。【再

掲】

- ・ 住み慣れた地域で最期まで暮らし続けたいというのが竟成地区に限らず、その地域に住んでいる人たちの願いだと思います。そのためにも、超高齢社会を迎える竟成地区において、日頃からの安否確認体制の確立（高齢者のみの世帯や高齢者の単独世帯への安否確認を日常的に行う体制）を考えていただきたい。
- ・ 公園や広場など、子どもから高齢者、皆の交流場があると良いと思います。
- ・ 高齢者も多い地域なので、病院や買い物など生活や介護に関する充実が必要かと。なのはな苑の予防抱括の開放とか
- ・ 竟成地区は広範囲であり、地区ごとの特性も多様であるとする。問題点も共通性のもの（社会的現象等）[少子高齢・過疎]や地域性の強いものなど多種にわたると思う。地域の力で解決できること、解決しなければならないこと、これからゆっくり考えていきたい。
- ・ お年寄りが町へ通える交通手段が少なく、車の人は大変であると思われる。【再掲】
- ・ これから年を取っていくことで、生活は大変不便です。車が乗れないと医者にも買い物にも行けないと思います。【再掲】
- ・ 老後運転できなくなった場合、現在の状態では不安だらけであるし、若い人が、住もうは思わない。

子ども・教育

■子ども遊び場（公園）など

- ・ 子どもの遊び場が少ないこと。
- ・ 子どもたちが普段遊べる公園や広場がない。わざわざ車で公園まで行かないと遊べない。そういう場所を整備してほしい。
- ・ 子どもの遊び場（広場、公園）がない。
- ・ 公園や広場など、子どもから高齢者、皆の交流場があると良いと思います。【再掲】
- ・ 竟成地区には広い公園がないので、子どもたちが遊べる公園がほしい。
- ・ 公園がない（小さい子が乗れるもの、遊べるもの）
- ・ 遊歩道のあるような公園またはくつろげる公園があればいいと思う。子どもが遊べる遊具があれば小さい子やお年寄りもふれ合えるから良いのではないかな。

■子育て

- ・ 子育てボランティア等（仕事をしている両親が、安心してあずけられる場所。または、定年後、高齢者の方など子どもが急に熱を出したり親が仕事を休めない時に預かってくれる家庭。有料でいいので。
- ・ 竟成小には学童がないので、仕事をしている家庭で、子どもが放課後安心してお願いできるような場があると良いと思う。少子化が進むのは、子どもを育てやすい環境でないからで、特に竟成地区には公園がなく、広場的な場所で遊んでいても、近所の方から迷惑がかかるフシがあるように思う。
- ・ 子育てと仕事をしている者として、学童保育の充実を図って欲しいと思っています

す。

- ・ 少子高齢化時代、年々子どもの姿が見られなくなっている。農家の後継者問題も含めた、将来像を考えながらもっとも重要な「子どもが元気に活動する地域」に対応するプロジェクトが必要かと思います。
- ・ 子育て環境の充実 → 自然を生かした地域づくり。

■子どもの安全対策

- ・ 子どもたちの通学路の安全街灯を多くしてみる。道路の穴やアスファルトの状態が良くない、などが目立つように思われる。【再掲】
- ・ 子どもの安心、安全の確保のため、散歩（犬の散歩含む）などの時間を登下校の時間帯にしてもらう。
- ・ 小学生を守るため、登校、下校の時間だけパトロールする。【再掲】

■少子化

- ・ 小学校に学童がない。
- ・ 小学校は年々児童数が少なくなって、今後合併は避けられない、福田小、神南小が合併するような動きがあるようだが、竟成小抜きに話が進み、福田＋神南小学校が旧3中跡地に設立されるのは本意ではない。福田、神南は、やむを得ず地元を出ることを視野に入れているのなら、ぜひ竟成小に来てほしい。クラス替えが出来るような規模の小学校ができることを期待したいし、夢のある話であると思う。今後、香西地区の一層の団結、風通しの良さが必要である。

地域コミュニティ

- ・ 地域住民はもっと仲良くしていくべき、何かあったらいつでも助け合えるような環境にしていかなければならないと思う。
- ・ 地区にはいろんな職業の方がいるので設備業関係をしていた者としては何かする場合そういう方々が集まれば少ないコストでできるような時は、協力参加が必要だと思います。
- ・ 地域のコミュニティへ新しく入って来る人がいない。また、入られても地元意識も強いので、コミュニティの参加も困難（付き合いや色々）というところもあると思います。個人に負担のかからない地域参加があればよいかと。
- ・ 少子高齢化のため、ボランティア活動や、人の少ない地域での定員確保の為の地域活動、時代の変化により、仕事が24h（朝、夜）のため、ボランティア活動へ参加できない（消防や、青少年などなど、定員が決められている）。
- ・ 町内会の役員選びで区長さんの仕事が大変なところ。
- ・ 学校地区は、新しい住宅地のため、各家庭の名前、顔がわからないため、地区の家庭の名前入り地図等出版物があればと思う。
- ・ 人が集まりやすい公園等の開放された場所の造成をお願いします。
- ・ コミュニティ施設の充実（管理人等の常駐）

住民交流

- ・ 地区の対抗戦など
- ・ 夏祭りなどの開催により地区全体の交流を通じ親睦と融和を図る。
- ・ 何の接点も無いので同じ区内に住んでいても、どこの子供か全くわかりません。子どもから年配者が一緒に何かできる事はないでしょうか？
(例) ① 年数回でも、毎日でもいいのですが、ラジオ体操
② 地域のゴミ拾い、草刈り等
- ・ 地区住民の小マラソン大会
- ・ 体育館を利用した講演
- ・ 竟成地区の歴史や史跡などを住民対象に講演していただきたいと思います。より竟成地域を理解して愛着が持てると思います。
- ・ 地区住民の交流のため、祭りやレク、イベント等開催するとよいと思う。
- ・ 学校地区だけの集まり等で親睦を深めるものが理想と思います。そこから意見等出され全体のまちづくりにつながるようにしたいものですね。
- ・ 世代をこえた親睦の場があるといいと思う。
- ・ 地域社会の交流、親睦の場として
 1. 盆踊りを復活させていただきたい。
 2. そして、地域内での住民運動会も開催してはどうでしょうか。
- ・ 年に1回くらいのイベントがあってもよいと思います。
- ・ 公民館の軒下あたりで、カフェ喫茶、東屋で寄り合う、釣り堀とか、みんなで楽しめる場。
- ・ 生涯学習の場などがあると良いのかなと思う。(絵、習字、俳句、手工芸、医食)
- ・ 各地の行事など共有して親睦を深める。
- ・ 公園などに草花を植えて、ボランティア活動をしたい。そうすれば、ごみは少しでも減らせるのではないかと思います。そして、親睦も深まり笑顔になり生きがいにもなるのではないかと。
- ・ ずっと咲く多年草と一年草を植えて、今だったら、パンジー、ビオラなど。ネモフィラ、わすれな草、1年草を季節に応じて植え替える。地域の皆さんとやりたいです。(1年草と多年草の植え方の図有り)
- ・ 地域の子どもと、高齢者のふれあう機会を多く作る。保育所と、老人施設を一緒にして、高齢者をいたわる心を育て、高齢者も、子どもとふれあう事で、元気になり、認知症予防になるから。
- ・ 生きがいの場がない。地域交流が少なく、将来的に不安です。

地域活性化

■働く場

- ・ 若い人が地域のために、働けるような環境づくり、いつまでも昔のやりかたでは、

ついてこないと思う。

- ・ 働く場の確保が急務
- ・ とにかく若い人が集まる地区にすることが大切だと思います。若い人が働く場所が必要です。

■農業

- ・ 地区農産業の発展
- ・ 農業後継者がいないと思うので、農業が体験できる場など作ったら良いと思います。
- ・ 農業従事者の育成を検討していきたいと思います。
- ・ 四季折々に生産物交換会などはどうだろう。
- ・ 地域の人に農業体験、ボランティアで農業支援、田畑を賃貸し、日曜菜園等をしてもらう。
- ・ 三中は香西地区に入っていないのですが、三中の生徒の声が聞こえる場所に住んで居る者としては、三中跡地の活用を考えるべく場を持てたらと感じます。三中後を宿泊地に活用して、都会等から体験畑作を一泊二日ぐらいで呼びかける。また、リタイヤした人などでおもてなしをする。休耕地利用で、ふるさと納税を活用して、宿泊の無料や学校跡地利用について、さまざまな展開性が期待できるとおもいます。
- ・ 若者を呼び戻す（地域から離れてしまっているため）。
- ・ 「農業を守ろう会」高齢になってきている農家の人達から農業を学び、若い世代へ繋げていく。
- ・ 佐原の祭りだけが有名だが、他に人を呼びよぶようなことをしていない。「クリスマスの大規模なイルミネーション」とか「農村地区なら都会の人へ畑をかすとか」

■買い物

- ・ 一カ所で買い物をすませることができる大型ショッピングモールが欲しいです。
- ・ お店がないので移動販売の車が来てほしい。
- ・ 大企業が入ってこないし、他県、他市から買い物に来る、食事に来ると話題になる（メディアに取り上げられる）店が1件もないから、将来に発展性を感じない、不安だらけである。

まちづくり協議会

- ・ 役員さんに押し付けるのではなく、大勢の参加、できることからの協力連携が必要と思っています。まずは、「話し合いの場」づくりが大切ではないでしょうか。
- ・ 「竟成地区のまちづくり」と、ことあたらしい課題を探しているような感もするのですが…。
- ・ 竟成地区の範囲を始めとして、何も知らないうちにアンケートだけ実施する？ 役員の地区を見るだけでも大崎、上谷津 etc. これは竟成小の学区と同一なのか。
- ・ まずはこの協議会が存在している事、活動内容などを住民に広く周知させる必要

があると思います。

- ・ 役員の皆さんの、ご尽力をお願いします。

行政への要望

- ・ 大根、長山、大崎、与倉、観音、鳥羽、上谷津（大字大根ですが、生活上、上谷津となり動いています。）七つの集落に住む人々から、これまで以上の生活要求が示されているはずです。たとえば合併当時の竟成小体育館の「タウンミーティング」では市長はじめ幹部が出席し、住民から生活要求の発言があり、「検討します」など、決まり文句の応答があったのですが、その後、9年間余りになるのですが、それらがどのようになっているのか…。この間の住民要求の資料は（秘書広報担当）にあるはず。1問～9問の設問はどこの地域でも共通の内容で、竟成区内という条件の中で設問したらどうですか…。
- ・ 税金が注入されていない、公共施設、工業施設、商業施設など発展する資質が全くないため、まちづくり協議会を開催する以前の問題が大きすぎる。

1. 上下水道（公共）がない。
2. 歩道がない。
3. 商業施設など賑わいがない。

こうしてほしい（解決策）

1. 上水道は最低条件。
 2. 工業団地の誘致。
 3. 苦肉の策だが、国の責任で設置する、管理条件で（①放射性廃棄物の中間施設。②自衛隊（国防施設、米軍施設）等、大規模な施設誘致で地域全体を大きく変える）。
 4. 市や県レベルの取り組みではウチがあかない。
- ・ 水道がないので引いてほしい、同じ香取市民なのに不公平です。
 - ・ 大根地区は水道が引かれてなく水質が悪いことが市の調査（約 20 年ほど前）にわかっている、いまだ水道が引かれてない、検査では幼児には適していない事がわかっています。早急に水道を引いてもらいたい。
 - ・ 平成の大合併で、範囲が広がりサービスは低下してしまった様に思います。サービス行事等は一度やめてしまうと続けるより再開するほうがエネルギーが必要に思います。買い物は、一つの場所に大型店舗では便利な反面、人が集まり過ぎ、時間の浪費につながります。もっと不便になればヒトらしい生活が出来るかもしれません。
 - ・ 環境改善の為に下水道の設備。汚水により空気汚染や人体に悪影響を及ぼす恐れが考えられるために検討していただきたい。
 - ・ 五中に行くまでの道のりが危なすぎる、林の中に連れ込まれたら発見できない。五中までの道中を整備してほしい。（早急に、お願いしたい）
 - ・ 通学路が危険なため、コミュニティバスなどを増便し、経路の検討をお願いした

い。高齢者も外出しやすくなる。

- ・ アスファルト舗装してほしい。
- ・ 上下水道整備の推進
- ・ 下水道などの確保。改善が悪く自然にも、生活井戸水にも悪循環である。
- ・ 道路の整備(道路がせまい。交通機関の充実)
- ・ 舗装整備の充実、(未舗装道路デコボコが激しく危険)未舗装道路(年2回砂利敷きを実施)の為、車両、自転車、歩行に支障があり危険である。快適な環境を目指すのであれば、まずは、住みやすい為の道路整備の充実を早急に行うべきである。
- ・ 学区には未舗装道路が多く有るが、現状年二回砂利を敷いて穴埋めを実施しているが、とても追いつけない。砂利敷きを年三回～四回実施するか、アスファルト舗装として頂きたい。
- ・ 中道路の道路幅が狭いと思います。小学校へ降りて行くまがった道です。
- ・ 道路などの排水整備
- ・ 道路整備の充実を図ってほしい。交通路が狭く、散歩をしていて危険を感じます。
- ・ 農道整備

その他

- ・ 小学生や中学生までは良く挨拶するが、それより上の年齢になると殆どしていない、家庭や学校の教育が必要です。地位等を含む権力者には自分から先に挨拶するが経済的、社会的弱者とみられる人に自分から先に挨拶をしてないようだ。まちづくり協議会の人達はいかがですか、愛着の持てるまちづくりの根源ではないでしょうか、市や市の職員の考えたような上すべりのした問ではあまり役にたかないでは…と思います。
- ・ 民生委員の増加、世話役でも
- ・ 生活していくうえで、色々と不便なことが多い、多すぎる。
- ・ 正直、親睦とか、そういうイベントじみたことが重荷です。
- ・ 問10の質問がでることがおかしいと思いませんか？ある程度の人選が出来上がってからいかにも新しく立ち上げるように伝えられましたネ！主旨と反するような人が理事に名を連ねていることには納得できません。
- ・ 今現在、地区でできる範囲での事項で急務な問題は見当たりません。

～暮らしやすく、愛着の持てるふるさとづくりを目指して～

竟成地区まちづくりアンケート調査票

ご協力をお願いします！

今年3月6日、香取市まちづくり条例に基づき、自治会をはじめ、各種団体の横断的な連携・情報交換を図り、地域の様々な課題の解決に向けて活動する「**竟成地区まちづくり協議会**」を設置しました。

協議会では、「**地域まちづくり計画**」を策定し、竟成地区の将来目標（どのような地域にしていきたいかという「**まちづくりの目標**」）を立て、その目標に向かって様々な活動を展開していこうと考えています。

つきましては、「**地域まちづくり計画**」を作成するにあたり、竟成地区にお住まいの皆さんの意見を大切にし、反映させることが重要であることから、地域住民の皆さんの意見を伺うため、アンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、以下の点に気をつけていただき、ご協力をよろしくお願いします。

◇記入にあたってのお願い

- この調査は、年代や男女の別など幅広く皆様から意向を伺いたいと考えております。したがって、今回、各世帯へ2部ずつ調査票を配布いたしますので、**16歳以上の世帯員2名の記入**をお願いします。特に、女性や若者の積極的な協力をお願いします。なお、**単身世帯の方は、調査票1枚のみの記入**をお願いします。
- この調査票は、封筒表面に記載のとおり自治会役員等が回収しますので、そのときにご提出いただくか、各自で自治会役員等までお届けください。
- なお、このアンケート調査で得られた回答データについては、当協議会の活動以外の目的には一切使用しません。

【問合せ先】 竟成地区まちづくり協議会 会長 平野 庄一
(☎59-0056)
佐原市民活動支援センター
(☎50-1213)

竟成地区まちづくり協議会

アンケートをご回答いただくにあたって・・・

- ・選択方式の場合は、該当する番号（数字）を、○でお囲みください。
- ・「複数回答可」の場合は、該当する番号すべてを、○でお囲みください。
- ・（ ） 欄には、それぞれのお考えなどをご記入ください。
- ・アンケートの設問内容がわからなかったり、難しいところがあれば、わかる範囲でご回答ください。

問1 お住まいの区（自治会）は、どこですか？

- | | | | |
|-------|--------|-------|----------|
| 1：大根区 | 2：上谷津区 | 3：大崎区 | 4：長山区 |
| 5：与倉区 | 6：観音区 | 7：鳥羽区 | 8：鳥羽台町内会 |

問2 性別は、どちらですか？

- | | |
|-----|-----|
| 1：男 | 2：女 |
|-----|-----|

問3 あなたの年齢は、満何歳ですか？

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1：16～18歳 | 2：19～29歳 | 3：30～49歳 |
| 4：50～64歳 | 5：65～74歳 | 6：75歳以上 |

問4 竟成地区は、住みやすい地域だと思いますか？

- | | | |
|------|--------|---------|
| 1：思う | 2：思わない | 3：わからない |
|------|--------|---------|

問5 これからも竟成地区に住み続けたいと思いますか？

- 1：ずっと住んでいたい
- 2：当面は住みたい
- 3：いずれは他地域に移りたい

（理由：_____）

- 4：わからない

次ページへ続く

問6 竟成地区の良いところ（自慢できるところ）をあげてください。

（複数回答可）

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1：自然が豊か | 2：人情がある |
| 3：犯罪が少ない | 4：地域コミュニティが充実している |
| 5：歴史や伝統がある | 6：老後も安心して生活できる |
| 7：安心して子育てができる | 8：買い物が便利 |
| 9：交通の便がよい | 10：働く場が豊富である |
| 11：その他（_____） | |
| 12：特になし | |

**問7 竟成地区の住みづらいと感じるところ（不安なところ）があれば、
お答えください。（複数回答可）**

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1：老後の生活 | 2：子育て環境 |
| 3：青少年の育成の場 | 4：交通の便 |
| 5：買い物が不便 | 6：防災体制 |
| 7：防犯体制 | 8：年々自然が失われていく |
| 9：ごみなどが目立つ | 10：歴史や伝統が大切にされていない |
| 11：文化、芸術にふれあう機会 | 12：魅力ある働く場が少ない |
| 13：地域コミュニティの衰退 | 14：自治会や地域活動に参加しにくい |
| 15：その他（_____） | |
| 16：特になし | |

次ページへ続く

問8 竟成地区の将来を考えるうえで、特に重視すべきことは何ですか？

(複数回答可)

- 1：近所や地域のつきあい・助け合い
- 2：個人のプライバシー
- 3：青少年の健全育成
- 4：子どもの安心・安全の確保
- 5：子育て支援活動の充実
- 6：高齢者の生きがいや健康づくり
- 7：祭りやイベント、スポーツ等を通じた地区住民の交流
- 8：住民の健康維持や介護予防のための取組み
- 9：地域の清掃活動、ごみのポイ捨て解消などによる生活環境の改善
- 10：田園景観、水辺や緑などの自然環境の保全
- 11：震災、水害、火災などに対する防災対策
- 12：治安維持のための防犯対策（活動）
- 13：歴史や文化の保存・継承
- 14：農業後継者の育成（農業の振興）
- 15：雇用の場の確保
- 16：通院や買い物時の交通手段の確保（バスなどの公共交通の充実）
- 17：地域を担う人材の育成
- 18：ボランティア活動の推進
- 19：その他（_____）

問9 これからのまちづくりには、住民参加が不可欠だと思いますが、あなたは、どのようにお考えですか？

- 1：何事にも積極的に参加したい
- 2：内容や頻度等によっては、積極的に参加したい
- 3：頼まれれば、可能な範囲で参加・協力したい。
- 4：関心がない
- 5：わからない
- 6：その他（_____）

問10 あなたは、「竟成地区まちづくり協議会」が設立されたことを知っていましたか？

- 1：知っていた
- 2：知らなかった

次ページへ続く

問 11 地区で解決することが必要と思われることについて、具体的な
ご意見やアイデアがありましたら、ご記入ください。

(例：竟成地区住民相互の親睦を深めるため、〇〇〇〇会を開催する など)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

※今後の「竟成地区まちづくり協議会」の活動にご協力くださいますようお願い
申し上げます。

4 人口統計データ

(4月1日現在)

地区名	平成17年			平成27年			人口 増減率
	人 口	世帯数	高齢化率	人 口	世帯数	高齢化率	
大 根	538	152	26.8%	451	151	34.1%	▲16.2%
上谷津	342	103	25.1%	302	115	27.8%	▲11.7%
大 崎	601	185	25.5%	532	190	32.0%	▲11.5%
長 山	134	43	25.4%	108	41	30.6%	▲19.4%
与 倉	447	143	19.5%	389	150	32.1%	▲13.0%
観 音	593	195	16.9%	597	232	20.6%	0.7%
鳥 羽 ※鳥羽台 含む	611	227	17.5%	529	231	29.1%	▲13.4%
地区計	3,266	1,048	21.8%	2,908	1,110	29.0%	▲11.0%

※平成27年市平均高齢化率：31.5%

5 市指定文化財等

■香取市指定文化財

区分・種別	名称	点数	指定年	所有者・場所
記念物・史跡	大崎城跡	—	昭和45年	大崎字城内（大崎）
記念物・天然記念物	堂の下大ひいらぎ	—	昭和45年	個人（長山）
民俗・無形民俗	大崎の大和神楽	—	昭和52年	大崎区（大崎）
記念物・史跡	頭白上人塚	—	昭和52年	大根字来光（大根）
有形・考古資料	金泥板石塔婆	4基	昭和59年	大龍寺（与倉）
有形・考古資料	阿弥陀文字図像板碑	1基	平成3年	大龍寺（与倉）
有形・彫刻	木造聖観世音菩薩立像	1軀	平成4年	観音区（観音）
有形・彫刻	妙見菩薩立像	1軀	平成15年	本命寺（大崎）
有形・彫刻	男神坐像	2軀	平成15年	本命寺（大崎）

■その他歴史・文化財等

名称（地区）		
磯花遺跡（大根）	馬頭観音（大根）	子安観音（大根）
切手神社（大根）	西蔵院（大根）	本命寺（大崎）
妙性寺（大崎）	白幡神社（大崎）	大六天神社（大崎）
大龍寺（与倉）	御堀（与倉）	鹿島神社（与倉）
与倉神楽（与倉）	与倉芸座連（与倉）	金蔵院（長山）
子大神（長山）	熊野神社（観音）	妙見神社（鳥羽）

